



本日のプログラム

- ◆ロータリーソング『四つのテスト』
- ◆卓話の時間『会員拡大について』
大西哲雄会員増強委員長

第2601回例会（2月21日）報告

司会 森山秀夫 S A A 委員長

- ◆開会点鐘 保下信一会長
- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆ゲスト紹介 保下信一会長
・ノエビアサロン・ラ・セクレ 山路琴枝さん
- ◆皆出席表彰 田谷昭宏ニコニコBOX委員長
・2年間 山 昌平会員



◆会長の時間 保下信一会長



皆さん今日は。本日はニホンジカについて少しお話をいたします。新聞にはニホンジカ北陸にも、生息域拡大、食害を懸念という事で個体数管理に取り組みしなければならないとされています。ニホンジカは町中に出没し車と衝突したり、高山では美しい高山植物が食い荒らされる恐れが出ています。昨年は輪島でもオスのニホンジカが目撃されています。ニホンジカの捕獲記録は富山県では明治時代まで、石川県では大正時代初期まで残っている様です。その後は乱獲で姿を消したと見られていました。しかし近年は長野、岐阜、福井で生息数が急増しており石川県でも1995年に再び捕獲される様になりました。この様に拡大の初期段階にある今、狩猟等により個体数を抑える必要があるそうです。ニホンジカは、イノシシと違い大変に可愛い動物ですが、シダ類、有毒なトリカブト以外は何でもほとんどの植物を食べてしまいます。森林で樹皮、幼木の枝葉があるいは高山植物が食べ尽くされています。ニホンジカの増加にも自然現象の変化に大きな原因がある様です。ニホンジカは蹄が小さく脚の長さも50センチ程なので深い雪の中では動く事が難しい。50センチ以上の積雪が30日以上続くと生息するの

が大変らしいです。しかし近年は暖冬の影響で雪も少なく現在は富山、石川では移動能力のあるオスの数が多く分布拡大の初期だそうです。メスが増えると1、3年で出産出来る様になり一気に増加に向かいます、人間は何をすれば良いのか悩むところです。

◆幹事報告 町元和夫幹事

・金沢武士団と東京海上日動ビックブルーのバスケットの試合（2月25日、26日）開催のチケットがあります。希望の方は事務局まで！

◆出席報告 田谷昭宏出席・ニコニコBOX委員長

2月21日の暫定出席率：83.33%
(出席25名、欠席5名)
2月7日の確定出席率：100%
(出席20名、欠席10名、メーク加算10名)

◆ニコニコBOX報告 田谷昭宏委員長

- ・西さん本日の卓話よろしくお願い致します。
保下信一会長
- ・山路さん！首を長くしてお待ちしておりました。
松岡恵水会員
- ・皆勤賞、2年間ありがとうございます。山 昌平会員



◆卓話 西 豊会員

テーマ『輪島市壮年ソフトボール同好会について』



輪島市壮年ソフトボール同好会は長い歴史があり、県内・市内の大会に数多く参加、運営にも積極的に協力してきた事。球場の条件や規定、試合進行のルール等の説明。審判になった時のクレーム処理や離塁等の判定に大変苦労した事。過去に出場した試合で、18対0の敗色濃厚のまま最終回を迎えたが、19点をとり奇跡の大逆転サヨナラで勝った時の興奮と快感が忘れられず、ジャンケンで勝つと必ず後攻をとるという話をされた。

◆閉会点鐘 保下信一会長

〔編集：曾又博史会員〕